

年頭のご挨拶

近畿中国森林管理局長 日尾野 興一



明けましておめでとうございます。

最近の森林林業を取り巻く状況は、中国における木材需要の増大や違法伐採への監視の強化などにより国際的な木材需給に変化の兆しが見られるとともに、合板や集成材の技術進歩により従来は利用し難かった木材に需要が出るなど明るい面が出て参りました。

一方、山では人工林が育っており、資源として日々増加しておりますが、木材価格の低迷の中で手入れがなされず、間伐など山の整備が特に必要な事態となっております。

他方、国民の森林への期待は高く、自然保護や癒しのための空間としてその健全な維持管理が求められており、また、本年から約束期間が始まる京都議定書の約束（森林を適切に整備することで二酸化炭素を吸収すること）が大きな割合になっております。この実行を通じた地球温暖化対策の推進が求められております。



間伐直後のスギ人工林（鳥取県 沖ノ山国有林）

近畿中国森林管理局としては、こうした状況を踏まえ、本年においても間伐を重点的に推進するほか治山事業を着実に実施し、森林の整備を図るとともに、低コスト路網と効率的な機械化体系の確立や民有林との連携の推進に努めます。また、国民に聞かれた国有林として森林林業に一層親しみを持って頂けるようNPOやボラン



森林環境教育の実践的プログラムの開発



一般市民等の参画による古都京都を彩る森林景観づくり（東山風景林）

ティア団体などと協力し、森林環境教育を実施するほか、管内に数多くある歴史的遺産の将来における修復などにむけて木の文化再生のための森づくりなどを着実に実施してまいります。

このためには、まず、関係者や国民の方々の一層の木材利用の拡大（木づかい）をお願いいたしますとともに私共の国有林の維持管理活動にご協力ご理解を賜りたいと存じます。

最後に、本年が皆様方にとりまして良い年でありますよう祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



低コスト路網現地検討会（兵庫県 マンガ谷国有林）